

水産試験場公開デーを開催します

—見て、触れて、楽しんで、水産業を学ぼう!—

本場 企画普及グループ

試験研究の成果等を紹介し、水産業への関心を高めていただくため、今年も公開デーを開催します。楽しみながら学べる企画をたくさん用意しました。ぜひ、御来場ください(入場無料)。

- 1 開催日時:平成30年10月27日(土)午前10時から午後4時まで
- 2 開催場所:愛知県水産試験場本場(蒲郡市三谷町若宮97)
- 3 主な開催内容

(1)試験研究成果の紹介、研究施設等の見学

・水産試験場の試験研究成果の紹介、研究施設見学、観測機器の展示、愛知県の水産業を紹介するビデオ上映

(2)参加・体験型企画

・蒲郡に水揚げされる深海魚の試食、魚の耳石ハンターになってみよう(先着30組)、チリメンモンスターを探せ、海苔すき体験

(3)展示、観察

・深海魚のはく製水族館の設置、アサリの海水浄化実験、プランクトン観察、生き物タッチプールコーナーの設置

(4)お楽しみコーナー

・あいちの魚ジャンボカルタ大会、金魚すくいと飼育相談、あいちのおさかなARスタンプラリー、おさかなクイズラリー

(5)漁業団体によるPRと即売

[無料配布]

・愛知県産シラス(チリメンジャコ)すくいゲーム(先着600名)(愛知県漁業士協議会)

[有料販売]

・「愛知のり」の販売(愛知県漁業協同組合連合会)

・「一色産うなぎ」串蒲焼き販売(一色うなぎ漁業協同組合)

・マス類加工品販売(愛知県淡水養殖漁業協同組合)

※企画は変更となる場合があります。



図1 深海魚のはく製



図2 昨年度の様子(チリメンモンスターを探せ)

のり養殖の季節を迎えて —今秋の水温動向—

本場 企画普及グループ

10月となり今年ものり養殖の季節がやってきました。ノリは高温が苦手であるため、海水温の動向には最も注意が必要です。図3は、三河湾内に3基ある水産試験場の自動観測ブイの日平均水温(水深3.5m層)を、図4は漁業生産研究所地先(南知多町)での計測水温をグラフに示したものです。

今夏は例年にも増して猛暑であったため、水温は平年値+2~3℃高く推移しましたが、その後の度重なる台風や活発な前線の影響により、現在は平年値まで低下しています。このまま順調な水温降下を期待したいところですが、昨秋発生した黒潮の大蛇行は現在も継続しており、黒潮の運ぶ暖かい海水が伊勢・三河湾沖に流入しやすくなっているため、その動向には注意が必要です。また、気象庁の発表によると10月以降エルニーニョ発生の可能性が示唆されています。エルニーニョが発生すると暖冬となり、水温降下の停滞などが心配されます。

水温が23℃を下回ると、のり養殖が始まる目安となりますが、網の張り込み日の決定には、約1か月先までの気象・海象条件を勘案した慎重な判断が求められます。水産試験場では、今年も水温・潮位・栄養塩・気象・養殖状況などを取りまとめた「のり養殖情報」を10月19日より発行しますので、適切な網の管理のためにご活用ください。

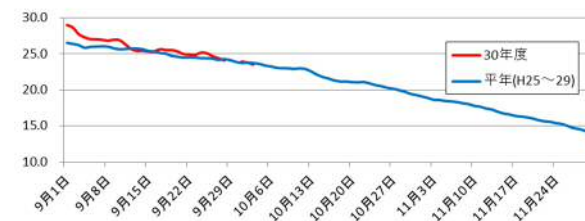


図3 今秋の水温動向(三河湾)

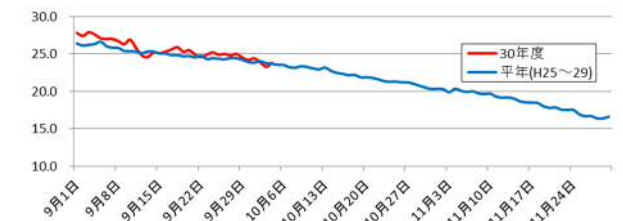


図4 今秋の水温動向(伊勢湾)

金魚日本一大会で「金魚飼育相談コーナー」を開設します

内水面漁業研究所 観賞魚養殖グループ

日本有数の金魚産地である弥富市で、10月28日(日)に「金魚日本一大会」が開催されます。全国の愛好家が育てた自慢の金魚を持ち寄り、その評価を競う大会で、毎年、多くの参加者で賑わっています。また、見学は無料で、一般の方にも見た目が華やかなたくさんのお金魚を楽しんでいただけます。当グループは、この会場で金魚に関する質問にお答えする「金魚飼育相談コーナー」の開設と水産試験場で開発した「アルビノ金魚」の展示を行います。優雅な金魚を愛でる合間に金魚飼育の悩み事などお気軽にご相談ください。

なお、金魚の出品等詳細は主催者である弥富金魚漁業協同組合(電話0567-65-1250)までお問い合わせください。



図5 相談コーナーの様子



図6 大会ポスター

